氏名	鶴 身 孝 文		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	博乙第 1874 号		
学位授与の日付	昭和 63 年 3 月 31 日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）		
学位論文題目	骨髄抑制に対する OK-432 の効果		
論文審査委員	教授 寺本 滋	教授 木村郁郎	教授 栗井通泰

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

マイトマイシン C (MMC) 投与によるマウス骨髄細胞機能の抑制に対する OK-432 単独ならびに OK-432 と骨髄移植の併用効果を, CFU-C, CFU-S, CFU-F を用いて検討した。MMC 投与後の OK-432 1 回投与により回復したが, MMC 投与前の 1 回投与によっては回復しなかった。また血中白血球数も OK-432 投与によりほとんど減少しなかった。OK-432 を 5 回に分け, 1 回量と同量を MMC 投与後に投与したところ, 1 回投与の場合よりもさらに強力な CFU-C の回復効果が認められた。次に, 骨髄移植によっても MMC による抑制は回復した。さらに, OK-432 と骨髄移植の併用による回復効果は, OK-432, 骨髄移植各々単独の場合よりすぐれていた。次に MMC と OK-432 の併用による抗腫瘍効果は, MMC, OK-432 単独によるものよりさらに増強された。

以上の成績により, OK-432 の投与によって MMC の骨髄抑制効果は軽減され, さらに抗腫瘍効果は増強された。このことは MMC 投与においてはその副作用の軽減, さらに抗腫瘍効果の増強を目的として MMC 投与後に OK-432 を投与するのが最良の方法と考えられた。さらに, 骨髄移植と OK-432 の併用によっては, 骨髄移植の効果を OK-432 が増強することから, 移植された骨髄細胞に対しても OK-432 が影響を及ぼすことが示唆された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は, マイトマイシン C 投与による骨髄細胞機能の抑制に対する OK-432 の効果についてマウスを用いて検討したものである。

マイトマイシン C 投与による骨髄抑制効果が軽減され, 抗腫瘍効果が増強されること, 骨髄移植との併用によりその効果を増強する等の知見を得たものであって, OK-432

の効果について重要な価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。